

城東の子どもたちにふるさとを! 第30回記念 城東納涼 フェスティバル

8月24日(日)
17:00 城東小校庭

城東だより

発行

城東地区
各種団体協議会
電話 635-8041
印刷 (株)井上総合印刷
電話 661-4723



●特別出演 栃木ブラックスの「ブレッキー」とチアリーダー「ブレクシー」



催し物

- 17:00 ~ 開会宣言
- 17:05 ~ 城東龍の行進
- 17:15 ~ チアリーディング他
- 17:40 ~ 城東小金管バンド演奏
- 18:00 ~ 城東小児童演技
- 18:30 ~ 盆踊り
- 19:10 ~ 城東龍の舞
- 19:30 ~ 福引大会
- 20:00 ~ 福引賞品引換

福引賞品

★特別賞

商品券(4本)

★金賞

商品券・カタログギフト・お食事券

★銀賞・銅賞

★参加賞



『自治会活動の主な行事の紹介』

自治会だより(第二回) 宿五東自治会

当自治会は少子高齢化の傾向が最も急速に進んでいる地域と思われれます。

私達の子供らは既に社会人になり親元を離れて生活しているのが大半です。三世代同居のお孫さんは少なく、転入夫婦世帯のお子さんは徐々に増えていきます。が、徐々に家族形態の変化による世代格差が拡がり、新旧会員の交流が希薄に感じられました。

地域住民同士の触れ合いづくりの場として、『宿郷夏祭り』を自治会長就任初年度から開催しました。昨年度で第五回目になり、その様子をご覧下さい。



毎年の敬老会の招待者の人員が最も多く超高齢化が進んでいる地域です。就任二年目に福祉部(福祉協力員)と協議を行い、地区社協が実施する配食の他に、『ふれあい配食』を七十五才以上のお一人暮らしと夫婦世帯や八十才以上家族同居を対象に、五月と十一月の中旬に見守り・声かけ活動として年二回実施しています。(約百名程度)



更に『ふれあいおしゃべり昼食会』を七月(七夕)と十一月(秋桜)に交流の場として年二回開催しています。(参加人員は毎回五十名程度)



平成二十四年度に居場所づくりや交流の場として開設した『宿郷いきいきサロン』毎週水曜日の午後二時から二時間、内容はストレッチやカラオケです。(参加人数は毎回約十数名程度)

見守り・支援のネットワーク作りを目的として年二回地域ケア会議を福祉協力員を中心に、活動を通じての情報の共有や交換を行っております。

自治会活動の担い手である宿郷寿楽会・福祉部・体育部のボランティアの協力を深く感謝するとともに、宿郷コミセンを自由に利用できる恩恵が大きいと思います。

(会長 吉澤 潤)



『安心・安全情報キット(救急医療情報キット)の更新について』



地区社協では平成二十六年一月中旬頃、迅速な救急処置に役立つ『安心・安全情報キット』を高齢者に配布いたしました。この情報キットは、各個人の医療情報をあらかじめ書き込んだシートを入れておくことにより、救急隊員が患者を搬送する際に、その情報を読み出し、迅速で正確な処置に役立つものです。

配布後五年半以上経過しましたが、皆さまキットの更新をしていますか。更新に必要な内容は、①と②です。

- ① 主治医と病院が変わった時は、所定の書類にお名前と病院名を書き直してください。
- ② 飲み薬が変わったり増えたりした時は、薬の説明書を筒内に入れておいてください。

今後の地域福祉活動の推進を行うための有効な資料にもなりますので、必ず主治医と病院が変わったら更新するようお願いいたします。

情報キットを紛失しお手元ない皆さま方は、お住まいの自治会長又は福祉協力員にご連絡を。配布いたします。

連載 第十二回

「腰抱稲荷の由来」

作 くまくら けい

馬子が、まどろみかけた母の肌の手を伸ばしたのか、路銀を狙ったのかは定かではなかった。

「何もしやしねえ。この尼女！」
母の腰に手を回し、母を盾にし忠助と対峙した。

「手を放せ」
「抜く気か、抜いて見ろ」

馬子は母を人質に小屋の外に出る。忠助は、タキを後ろに庇いながら小屋の外に、もう一人の馬子は、竹棒を持って、忠助にかかってきた。忠助はそれをかわし、脇差しを抜いた。

馬子の竹棒が忠助の足に当たる。と同時に忠助の振り下ろす刃が、馬子の肩先を斬った。馬子は悲鳴をあげて転がりながら逃げた。母を盾にした馬子は、母を強く蹴飛ばし、何度も続けて蹴った。母は、あまりの恐怖で声を出すこともできず、その場に這い蹲って

動けなかった。

忠助は、馬子を斬ったとき竹棒で足を払われ倒れた。そのとき、太腿に何かが刺さり、直ぐには立てず馬子どもを追うことができなかった。足をひきずり母を助け起こしたが失神したのか反応がない。

タキは、恐ろしい格闘を見て、その場にへなへなと座り込んでしまった。それからどうなってここに寝ているのか覚えていない。

母は、蹴られた場所が悪く失命。忠助は、太腿の傷から菌が入ったのか、今でいう破傷風になり、高熱を出し危険な状態になっている、意識もない状態である。通りかかりの商人に助けられ、厩橋の商家に運ばれたそうだが、虫の息の忠助から「タキを宇都宮藩の市村様に」と聞いただけで、回復を待ってからと思う間にこうなってしまったとのことである。
その夕刻、破傷風で忠助も息を引き取った。
(つづく)

表彰おめでとう (平成31年度)

1月25日 栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰
5月29日 宇都宮市社会福祉協議会会長表彰

- 七原 延元
- 賀澤とみ子
- 熊倉 紀子
- 所 泰子
- 山田 和子

城子連リーダー訓練

六月十五・十六日の両日、城子連恒例のリーダー訓練を開催しました。場所は益子町にある栃木県芳賀青年の家で、今回で十六年目の実施となりました。

城東小の六年生三十八名が参加しましたが、当日は生憎の天気で朝から雨模様で予定のスケジュールも大幅に変更になりました。

益子の名刹、西明寺の見学から始まり、益子焼の陶芸教室では手びねりで皿やコップなどを製作しました。完成品は城東地区文化祭で展示します。完成後はキャンプファイヤーが雨でできない為、体育館でキャンドルサービスを行いました。全員でロソクの火を灯し、なかなか幻想的な光景を見る事ができました。その後の肝だめしやナイトハイキングは中止になり、残念がります。



子やほっとする子、思いはそれぞれでした。

二日目は、原始人のような火起こしからスタートし、かまどの中に薪で火をつけてカレーを作る野外飯ごう炊飯を経験しました。出来ばえはそれぞれですが、みんな美味しそうに食べていました。

最後にウォークラリーですが、通常二時間のコースが予定変更で、ショートコースでの実施となりました。

大自然の中でのプチ冒険でしたが、みんな楽しんだ様子でした。また来年六月に実施する予定ですので、たくさんの方の六年生が参加してくれることを期待しています。
(大槻 一徳)

新任者紹介

築七東自治会長

塚原 毅 繁



福祉協力員連絡協議会長

寺田 孝 一



宿郷寿楽会・城東寿楽会

宿郷寿楽会（会員は四十一名で宿五東）と城東寿楽会（会員は十九名で築五東）の二団体の老人会（城老連）は、連合又は個別に事業活動しています。



城老連の事業は、城東小三年生の「昔の生活体験（火おこし・餅焼き）」

一年生との「昔の遊び（羽根つき・こま・めんこ）」のボランティア活動で、児童達にやり方を教えながら一緒に体験し、児童達からの質問に答えたりと、楽しいひとときを過ごしています。



宿郷寿楽会

更に、宿郷寿楽会はそよかぜ公園の一角に花壇作りと清掃を、城東寿楽会は城東コミセンに五個のプランター作りと清掃と、地域緑化推進活動を実施しています。感謝申し上げます。



城東寿楽会

地区バレーボール大会

六月九日(日)城東小体育館において、第四十三回バレーボール大会が開催されました。七自治会八チームの熱気溢れる戦いの末、平松西Bチームが優勝、宇大西チームが準優勝の成績を納めました。



▲優勝 平松西Bチーム



▲準優勝 宇大西チーム

令和元年度後期 城東地区行事予定

- 8月3日～4日(土・日) ふるさと宮まつり参加
- 8月24日(土) 第30回城東納涼フェスティバル
- 9月15日(日) 地区敬老会
- 10月13日(日) 地区体育祭
- 10月19日～20日(土・日) 第39回地区文化祭
- 11月3日(日) 地区ソフトボール大会

城東龍の由来



平成二年第二回フェスティバル開催にあたり子ども達に夢を託して「城東龍」が誕生しました。子どもたちが幾多の障害や困難を乗り越え、龍のようにたくましい人間に成長してくれることを祈り作りました。また、龍の舞によって行事を盛り上げふるさとづくりに役立てると共に地域の活性化を図っています。

編集後記

五月から「令和」に改元され初めての「城東だより」です。早いもので「城東納涼フェスティバル」も三十回目となりました。龍の舞の龍の頭も三代目となり、持ち上げるのも大変だった初代に比べ軽量化されました。体育協会の皆様今年も上手に舞ってくれるかな？